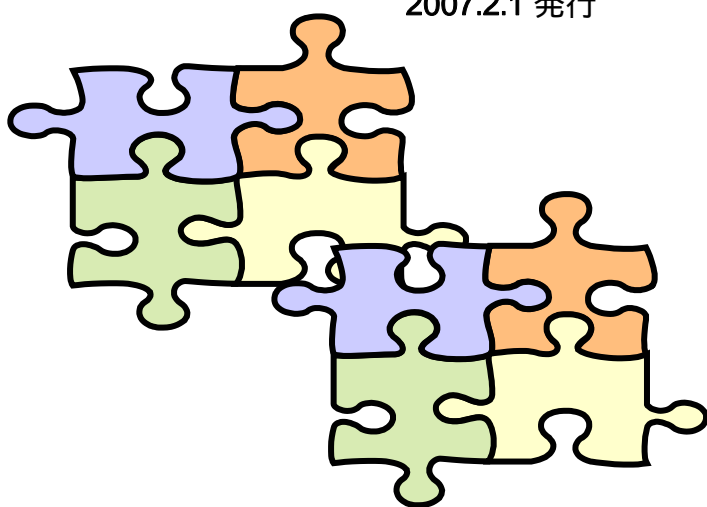


広報ちゅうざん

2月号

2007.2.1 発行



2月号 目次

- 巻頭の挨拶(2頁)
- 嚔下(えんげ)障害と対処法(3頁)
- 通所リハビリテーションの活動紹介(4頁)
- 医療制度 Q&A ~病院の差額ベット代~(5頁)
- 「節分」(5頁)
- 平成18年12月の入退院状況(6頁)
- 当院周辺地図(6頁)

リハビリテーションとスポーツ交流

ちゅうざん病院 理事長/院長 今村 義典

我が国でも車椅子で旅行している方をよく見かけるようになりました。車椅子ばかりでなく杖をついて明らかに脳卒中の障害を持っていると分かる方の団体旅行も多く見かけるようになりました。近年の沖縄ブームもあって、那覇空港のロビーでは、特によく見かけます。プロのスポーツ選手のキャンプばかりでなく、筋肉の強ばりやすい麻痺のある障害者にとっては、沖縄の温かさは天国のようなものでしょう。

行動は不便そうですが、亜熱帯の生命力溢れる花や常緑の自然、コーラルブルーの海、長寿の琉球料理と、期待に胸膨らませ楽しそうにみえます。

車椅子で、元気にスイスイ移動している集団は、車椅子マラソンや車椅子バスケットなどの選手達の遠征風景として見受けられます。健常な旅行者より元気良く見えますが、脊髄損傷者が多いようで、決して健常者ほど外出は、楽でないと思います。トイレのこと、褥瘡の予防、下半身の痛みなど見かけ以上の問題を抱えていることは医療者の目からは、よく理解できます。

昨年の医療法改正でリハビリ治療日数の制限が問題になりました。特に、障害の受容が出来ずに、病院と縁の切れないまま長期間リハビリ人生を送っていた方には大きな不安になってしまったようです。しかし、一方、身体が不便になっても幸い生きている人生を楽しみたいと考える障害者も沢山います。

障害を受け入れて、人生や生活のあり方を再構築できるようになることを、「**障害を受容する**」とリハビリでは言っています。社会復帰の第一歩です。

障害の受容を実践している、横浜市の「障害者スポーツ文化センター・横浜ラポール」のスポーツ活動は、医療者から見ても、目からウロコです。障害者の積極的な姿勢に教えられる素晴らしいものがあります。今回、2月4日に脳卒中による片麻痺などの障害を持った方が横浜から来沖され、障害者同士のスポーツ交流（グランドゴルフまたは卓球）を申し込まれています。昨年に次いで2回目の試みです。障害を持ちながらも、旅行、スポーツと生活を楽しんでいる方々との交流は、病院や施設でのリハビリ人生にこだわっている気持ちを吹き飛ばし、**リハビリテーションの理念である、素晴らしい人生を取り戻すこと「生活の再構築」**の参考になるのではないかと考えています。

ちゅうざん病院では、今後、益々元気な障害者と交流を活発に発展させ、**障害の受容**を障害者御自身で納得され、早い社会復帰をされるようにお手伝いをさせていただきたいと思っています。

嚥下障害とは

嚥下は外部から水分や食物を口に取り込み、ノドと食道を経て胃へ送り込む運動です。このいずれかに異常が起こることを嚥下障害といいます。嚥下障害になると食物を摂取できなくなり脱水症や栄養不良を起こしたり、食物が気道へ入る誤嚥を起こすことで身体に重大な影響を引き起こします。もうひとつ忘れてはならないことに食べる楽しみの消失があります。口からたべられなくなることは人生の生活の質を大きく低下させることとなります。

嚥下障害を疑う主な症状

むせ...どういった食品でむせるか？食べはじめにむせるか？
咳...食事中や食後の咳は多くないか？
痰の性状、量...食事を開始してから量は多くないか？
咽頭異常感、食物残留感...のどに違和感はないか？
声...食後に声の変化はないか、ガラガラ声ではないか？
食欲低下...むせて苦しいから食べないなど嚥下障害が原因のことがある。
食事内容の変化...飲み込みやすい物だけを選んでいないか？
食べ方の変化...上を向いて食べる、口からこぼれる
食事時の疲労...食事に伴う低酸素血症はないか？
口腔内の汚れ...ひどい歯垢、食物残渣

家庭でできる嚥下障害への対処法

水分・汁物にトロミを付ける...サラサラした水分は流れるのが速いため、間違っただけで気道に入りやすいです。水分に粘性を付けることで誤嚥しにくくなります。
食事の環境整備...食事に集中できる環境が大切です。テレビやラジオは消して食事をしましょう。
意識的な咳...意識的に咳をすることで、気道に入りかかった食物を喀出します。
交互嚥下...違う性質の食べ物を交互に嚥下することでノドに食べ物が残ることを防止します。特にゼリーを与えると効果的です。

以上、嚥下障害と対処法について簡単に説明しました。もっと嚥下障害について知りたい方は、言語聴覚士に気軽に声をかけてください。

通所リハビリテーションの活動紹介

理学療法士 漢那梓

通所リハビリテーション（以下、通所リハ）では、機能障害を持つ方が、主治医の判断に基づいて、介護老人保健施設や医療機関へ通所して日帰りで受けるサービスです。心身機能の維持や回復を図り、日常生活上の自立援助のための理学療法や作業療法、その他の必要なりハビリテーションを受けられます（当院の通所リハには、理学療法士4名、作業療法士1名がおります）。

今回は、通所リハビリでの活動を紹介します。

1. お誕生会



職員による余興



ローソク消し



特別ゲストの余興

2. 趣味活動

今回は、島袋清順さんと比嘉清順さんによる三線を紹介します。



2人で1つの三線を弾いています。お二人とも元々三線がお上手だったそうです。息もぴったりで、歌声も素晴らしいのでお聞かせできないのが残念です。

このように、通所リハビリでは機能回復のためのリハビリだけでなく、楽しみや趣味につながるような活動をサポートできるように、少しずつではありますが、スタッフ一同、がんばっていきたいと思っています。

医療制度 Q & A ~ 病院の差額ベッド代（個室利用料金） ~

Q:入院して個室に入ると、保険が利かない差額代を取られますが、値段は病院によってまちまちです。どうやって決められているのですか？

A:「4人部屋以下で1人当たりの面積が6.4平方メートル以上、プライバシーの確保や個人用の収納がある。といった条件を満たすと、原則、ベッド数の5割を上限に医療機関は差額ベッド代を取れることになっています。」

全国の差額ベッド数の割合は、1人部屋62%、2人部屋26%、3人部屋3%、4人部屋9%という数値で、62%が個室です。

金額については、規定がないので、それぞれで定めて国に届け出ます。

2004年7月の厚生労働省のまとめでは、1日最低50円から最高21万円の部屋まであります。1日の平均額は5,301円で、1人部屋の場合の平均額は6,880円、2人部屋で2,949円、3人部屋で2,674円、4人部屋では2,278円と個室以外は、2,000円台が一般的なようです。

例えば、当院では、A(2室):1,000円、B(2室):500円、C(その他の個室):320円と3種類の個室料金を届け出て利用して頂いています。

生活様式の変化はプライバシーとアメニティから、これからの世代は、差額料を負担しても、個室を希望される傾向は進むと考えられます。最近の新しく建てられている病院の4人部屋は、個室のように全て窓に面するような工夫がされている病院が増えているのもそのあらわれかと推測されます。

『節分』

4B病棟看 上原さゆり 宮城英可

節分とは・・・? 「季節を分ける」ことを意味しています。

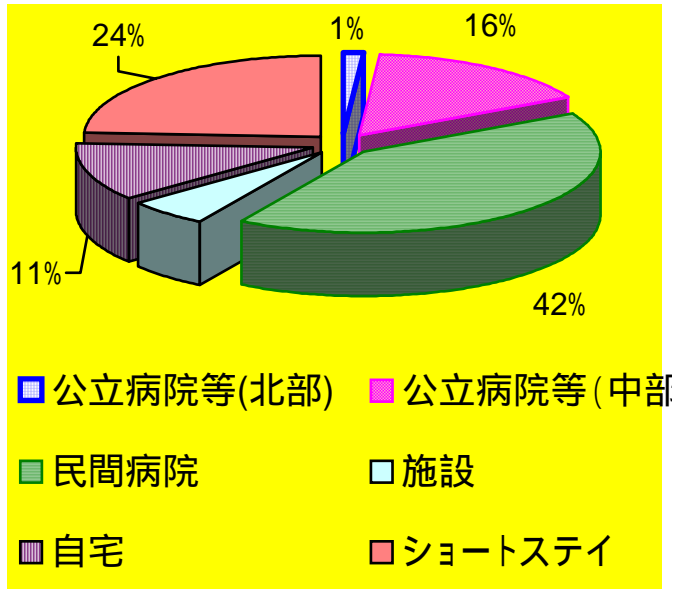
節分は、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことを指します。特に、立春の前日(2月3日頃)のことを指す場合が多いですね。

豆まき・・・? 炒った大豆をまき、まかれた豆を自分の年齢(数え年)の数だけ食べます。豆をまくことには、鬼に豆をぶつけることにより邪気を追い払い、1年の無病息災を願うという意味合いがあります。

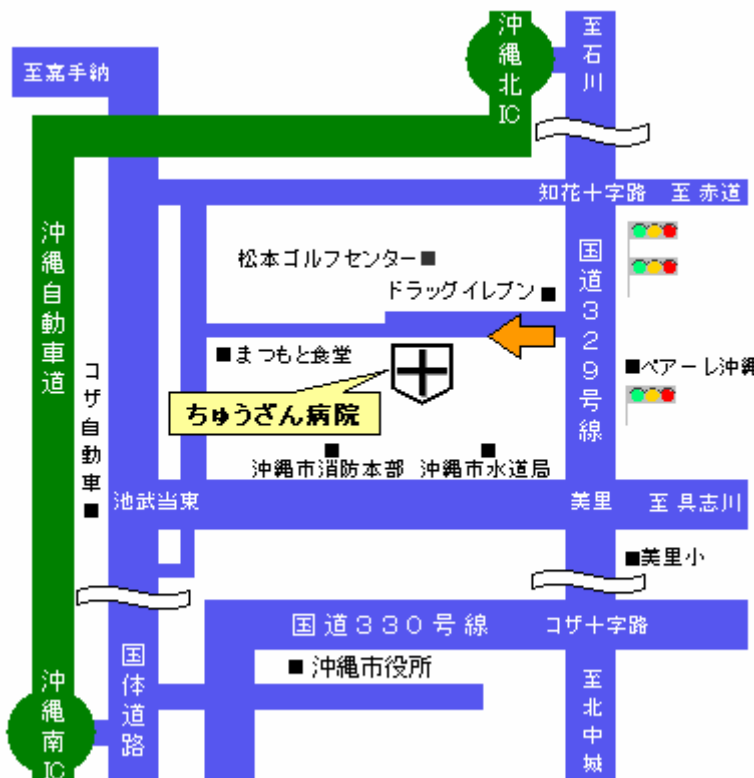
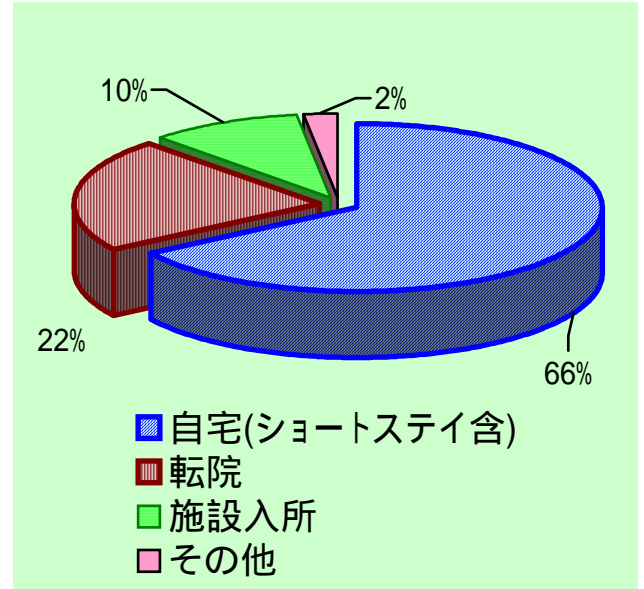
大豆 ダイズ(大豆)はマメ科の植物でその種子を指します。農作物として世界中で広く栽培されています。苦味成分であるサポニンが多く含まれており、人類の主食にまではなっていませんが、植物の中では唯一肉に匹敵するだけのたんぱく質を含有することから、近年の世界的な健康志向の中で「ミラクルフード」として脚光を集めています。「畑の牛肉」の異名もあるほどです。

【平成18年12月入退院状況】

【入院患者数：74名】



【退院者数：91名】



病院周辺地図

ちゅうざん病院
〒904 - 2151
沖縄市松本6丁目2番地1号
電話 982 - 1346
FAX 982 - 1347

広報ちゅうざん(2007年第2号)発行:ちゅうざん病院
広報委員 編集:安里 優子